

「高齢者が暮らす、
高齢者と暮らす」

人間科学が支援する 地域社会づくり

早稲田大学人間科学学術院は、市民参加のもとに「支え合いの地域」を開発する学際的研究を行いました。その成果を踏まえて、超高齢社会における人間科学の重要性を確認し、「住み慣れた地域社会にできる限り住み続ける」ための方策を提案します。

第一部

「尊厳あるケアを実現するシステム：市民参加と人間科学」

場 所：早稲田大学 所沢キャンパス 101号館 101教室
日 時：10月30日 10時～12時
ご挨拶：熊野宏昭教授（人間総合研究センター所長）
演 題：「超高齢社会における医療・介護専門職の問題」
赤津拓彦院長（医鳳会 並木病院）
「ベルギーにおけるボランティアが支える認知症介護」
ポール・ブラエム会長（ブルージュ地域高齢者介護施設協会）
「市民が専門職と協働する方法：思い出ブックの開発」
山村正子研究員（早稲田大学人間総合研究センター）

第三部

「人間科学が支援する“高齢者が暮らす、高齢者と暮らす”地域社会づくり」

場 所：早稲田大学 所沢キャンパス 101号館 101教室
日 時：10月30日 13時～15時
ご挨拶：熊野宏昭教授（人間総合研究センター所長）
演 題：「“高齢者が暮らす、高齢者と暮らす”地域社会づくりと人間科学」
加瀬裕子教授
「総合的科学による高齢者ケア：ベルギーの経験から」
ポール・ブラエム会長（ブルージュ地域高齢者介護施設協会）
「所沢市における社会的ネットワークの特徴」
扇原淳教授
「高齢化団地と近所付き合いの可能性」
小島隆矢准教授
「尊厳ある生活を実現するサービス」
岩崎香准教授
「老々介護と補助器具の活用」
村岡慶裕教授

第三部

「尊厳ある認知症ケアをめざして」講演のタベ

場 所：めぐろパーシモンホール
日 時：10月31日（月） 18時30分～20時

「ベルギーにおける認知症ケア」

ポール・ブラエム会長
（ブルージュ地域高齢者介護施設協会）
座 長：加瀬裕子教授

早稲田大学 人間総合研究センターとは？



人間の発達と、科学と技術における進展は、両者があいまってよりよい方向にあるべきですが、先端科学技術が先走りして、人間が置き去りにされている懸念がないわけではありません。この問題は科学・技術を基盤にしてすすめられている社会変動を考えると、きわめて重要なものです。また、社会構造の多様化と複雑化は現代社会を不透明化し、人間のいる位置が見えにくくなっています。われわれが当面している課題は簡単には解決がつく問題ではないと思いますが、人間と社会と自然の関係や相互依存について学び、人間・社会・自然、それぞれに、またそれらの間に全体としての統合と調和の状態を実現すべく、社会に絶えず問いかけ、働きかけることが必要かと考えます。

人間総合研究センターは、こうした考えを実現する目的で設立されました。また本研究センターは研究成果の水準を高め、そしてその成果を活用するため、大学の内外に門戸を広く開放しています。 <https://www.waseda.jp/fhum/archs/about/overview/>

-----申し込み用紙-----

FAX 番号 04-2938-2301(締め切り 10 月 26 日)

締め切り以後でも参加は出来ます。

ご氏名	
ご住所	〒
お電話	
ご希望	10 月 30 日 第一部 人数 () 名 第二部 人数 () 名
	10 月 31 日 人数 () 名